

第14回 『瀬谷の草刈り・大豆の種まき』

と き 2013年7月6日（土） 9:30 - 18:30

ところ 瀬谷のテツさんの畑

天 気 高温多湿、熱中症注意報あり、一日中台風なみの突風が吹いたお蔭で何とか過ごせた

参加者 石田（周一、ヒデ）、梅下早苗、久保、高田裕司、藤田 計6名（内子供1人含む）

テツさん、和久さんも指導、協働

【午前】

- ・ 田んぼの草取りは先週何とか合格した模様なので、瀬谷のテツさんの畑へ大豆の植え付けの手伝いに行く、田んぼの黄色くなっている部分の稲を補植する、田んぼ周りと駐車スペースの草刈り、のどれをどうこなすか少し相談したが、人数も少ないので二手に別れず、全員でまずは瀬谷へ向かうことにした。
- ・ 高田ファーム差し入れの朝採り枝豆はしばらくおあずけとなる。
- ・ 大豆の植え付けは、和久さんが畑をヤンマーのアグリカ A-10で丁寧にならしてからなので、男性陣は草払い機で土手の斜面のアズマネザサの刈込みを行った。
- ・ 女性は畑にプロボカシを2袋まいた。

【お昼】

- ・ お昼は近くのコンビニへ買い出しに行き畑脇の木陰で食べた。顎ひもをしぼっている麦わら帽子も吹っ飛んでいくほどの強風なので、食べ殻のコンビニ袋をフェンスにしぼっておいたら、カラスに襲われた。

【午後】

- ・ 和久さんのならしが終わったのでいよいよみんなで畝を作る。ひもを張り、それに沿ってクワで土をすくい、手前に積んで12列の畝を作った。
- ・ 休憩時、テツさんからアクエリアスとお茶の差し入れあり。
- ・ キヒゲンをまぶした丸大豆を3粒ずつ、20~30cm 間隔でまいた。150箇所 x 3粒 x 12列
- ・ 足で砂をかけてならし、高度化成肥料442号とトレファノサイド1袋をまいた。
- ・ 17時、瀬谷を後にした。
- ・ 谷戸に帰り、石田さんが駐車スペースを草払い機できれいにしてくれた。
- ・ 解散は18時半ころ。

本日使用した用具：草払い機3台、クワ4本、ザル3個、肩掛けプラ容器2
次回の作業予定(7月13日)

(記録：藤田廣子)